

会議録

会議の名称	令和2年度第2回茨木市社会教育委員の会議
開催日時	令和3年2月8日(月) 午後6時～7時
開催場所	南館8階中会議室(オンライン会議併用)
議長	三川俊樹
出席者	稲田 勲 今西幸蔵 大浦晴子(オンライン) 大島亜希子(オンライン) 佐野 明 高尾末男 高本 賢 古川美奈子 三川俊樹 (計9人)
欠席者	なし
事務局職員	岡田祐一 教育長 小田佐衣子 教育総務部長 上田雄彦 市民文化部長 松本栄子 教育総務部次長兼社会教育振興課長 木下典子 教育総務部歴史文化財課長 吉田典子 教育総務部中央図書館長 地頭江 智 市民文化部文化振興課参事 小西勝二 市民文化部スポーツ推進課長 山内得世 教育総務部社会教育振興課参事兼指導育成係長 他職員(計12人)
議題(案件)	令和3年度社会教育の努力目標(案)について
配布資料	会議資料

社会教育振興課長	<p>【開会】</p>
教育長	<p>【あいさつ】</p>
社会教育振興課長	<p>本日の会議は、感染症対策のためオンライン会議を併用し実施する。オンライン参加の大浦委員、大島委員を含め<u>9人中9人</u>の委員が出席、茨木市社会教育委員条例第6条第3項の規定により、本会議は成立。</p> <p>配布した席次表に誤りがある。高本委員について、太田小学校長とあるが、安威小学校長である。修正をお願いしたい。</p> <p>議事進行を、三川議長にお願いする。</p>
三川議長	<p>令和2年度第2回「茨木市社会教育委員の会議」を開会する。</p> <p>感染症対策として、会議時間短縮を図り、午後7時までに終了予定で議事を進める。また、オンラインでの参加の方に分かりやすいよう、発言の際は、冒頭にお名前を添えていただくようお願いしたい。</p>
社会教育振興課長	<p>【会議の公開】</p> <p>本会議は、平成30年度第1回の社会教育委員の会議において、「公開」と決定しているので「公開」とし、傍聴者の資料の閲覧及び持ち帰りも許可し、ホームページや情報ルーム設置の会議録の内容については、議長に一任とさせていただく。</p> <p>(傍聴者はなし。)</p>
社会教育振興課長	<p>本日の案件は「令和3年度社会教育の努力目標」であるが、その前に今年度のコロナ禍での社会教育委員の活動について、事務局から説明をお願いしたい。</p>
社会教育振興課長	<p>「今年度の社会教育委員の活動について」は、例年この第2回会議で、各委員に年度内にご参加いただいた各研修会等のご報告をいただいているが、今年度については、新型コロナウイルス感染症の影響により、近畿地区社会教育研究大会（大阪大会）は来年度に延期、大阪府社会教育振興協議会三島ブロック研修会は中止、例年3月に実施されている大阪府社会教育研究会議については、実施の有無を含めて、現時点で連絡はないため、今年度の社会教育委員の活動について報告はない。</p>

<p>三川議長</p>	<p>コロナの影響で研修会等は中止となり、今年度の活動報告はないとのことである。</p> <p>それでは、本日の案件に入る。</p> <p>案件「令和3年度社会教育の努力目標について」は、事前に資料をお送りし、各委員からの意見を頂戴した。各委員からの質問・意見と所管課からの回答を取りまとめた資料、それらを反映した「令和3年度社会教育の努力目標について（案）」を、会議資料として配布している。事務局から概要を説明後、各委員からご意見等をお願いしたい。</p>
<p>社会教育振興課長</p>	<p>【概要説明】</p> <p>令和3年度社会教育の努力目標（案）については、主に、①コロナ禍において社会教育をいかに推進していくか、②SDGsのゴールとの関連性、という2つの視点から見直しを行った。赤字部分が昨年度分からの変更箇所、この段階で各委員から意見をいただいた。それらを反映させた箇所が青字部分である。</p> <p>意見反映後の変更箇所は、</p> <p>P2「人権教育の推進」に、SDGsのゴール5、10を加える。</p> <p>P3「家庭教育支援」に、5を加える。</p> <p>P1努力目標全体に、5、10、16を加える。</p> <p>P2「人権教育の推進」、P3「家庭教育支援」P4「文化財の保存と活用」に、コロナへの対応を追記。その他文言の修正。</p> <p>努力目標に対する意見のほかに、社会教育関連事業について意見をいただいた。いただいた意見と、それらに対する回答、対応は質問・意見一覧」に記載したとおりである。</p>
<p>三川議長</p>	<p>各委員から、質問・意見があるか。</p>
<p>今西委員</p>	<p>「質問・意見一覧」（1）にある、私が出した意見を修正したい。</p> <p>「ジェンダー・フリー」を「ジェンダー平等」に改める。</p>
<p>大浦委員</p>	<p>SDGsのゴールを、さらに追加することを提案する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「公民館活動」に、5、10、11 ・「青少年教育」に、5 <p>性の多様性の考え方が必要。悩んでいる子ども達がいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「図書館活動」に、5、11

三川議長	事務局、いかがか。
社会教育振興課長	いずれも、必要な視点と考える。追記する。
今西委員	<p>「家庭教育支援」3) 対話や交流を通じて親のあり方を学ぶ「親まなび講座」について</p> <p>大切な視点だと思う。だが、親ではなく「保護者」とできないか。教育基本法第10条にも「親その他の保護者」とある。</p>
三川議長	親まなび講座は、長年大浦委員が関わり取り組まれている事業である。事務局の意見はいかがか。
社会教育振興課長	<p>「親まなび講座」は、家庭の中で子を育む、いろんな立場の保護者を対象に、そのあり方を考える事業であり、「保護者のあり方」とすることは問題ない。講座の名称としては、府の「親学習」教材を使用しており、広くこれまで親しんでいただき定着しているので、このまま使用したいと考えるが、大浦委員の意見はいかがか。</p>
大浦委員	<p>参加対象は、必ずしも親ではない。祖母等が参加することもあり、地域の方が参加されることもある。多様な世代の意見交流が必要と考えている。学生対象に実施することもある。講座の名称は、定着しているので、そのままでもいいのではないか。</p>
今西委員	今の説明でよくわかった。
三川議長	<p>私の大学でも、学生対象に実施してもらっている。</p> <p>家庭教育と子育て支援との関わりについて、今西委員から以前にも指摘があった。今回「対応」として「所管課と連携して」とあるが、改めて説明をお願いしたい。</p>
社会教育振興課長	<p>社会教育の視点で取り組んでいるのは、保護者に向けた家庭の中のしつけ、子どもとの関わり方についての情報提供等による家庭教育の支援である。子育て支援は、保育、子の一時預かり、つどいの広場など、福祉部局が所管しているもので、これらと連携して事業を実施していく。</p>

三川議長	他委員から、意見等ないか。
稲田委員	<p>人権教育について、コロナに関連する不当な差別等への取組とある。人権センターでも、コロナ差別について様々な取組をしている。</p> <p>「ストップ！コロナ差別」のチラシを作成、自治会や学校、その他各団体や施設等へ配布している。また、2月18日にローズWAMで、関西大学宮前先生に「ハンセン病問題を通して新型コロナウイルスにまつわる人権侵害を考える」と題した講座を企画している。</p> <p>皆様のご協力、ご理解をお願いしたい。</p>
佐野委員	<p>私の質問・意見として、コロナ禍において「非常識」な大人が増えていると書いた。自分の名前が表に出ない状況での差別的発言や医療従事者への偏見、また今般の（東京2020組織委員会）森会長の（“女性蔑視”に係る）発言などがあり「非常識」としたが、これも自分の偏見かもしれないと、今改めて考えて思った。</p> <p>コロナで、公民館活動はどこも縮小している。見山公民館は、小学校は児童20人くらいで、子ども達の親をみんな知っている、地域の人をみんな知っているなど、他と比較すると規模が小さく、「人と人とのつながり」という点で大変取り組みやすい。これは他では当たり前のことではない。恵まれていると感じている。</p>
高尾委員	<p>令和3年度以降も、コミセンや公民館活動は、難しい状況だろう。顔を合わせて、ということが大切だと改めて感じている。地域の会議はほとんどできていない。地域で3年事業がないと0からのスタートになる。「どうでもいい」となってしまう。</p> <p>社会体育においても、三島地区や府の総合大会は中止、市体育協会杯の大会などもかなり中止となっている。緊急事態宣言で20時までの貸館となり、教室も中止しているところが多い。</p> <p>人と人との結びつき、コミュニケーションをどうとっていくか、悩みはつきない。</p>
三川議長	<p>大阪北部地震、台風被害からのコロナ禍で、社会教育はかなりダメージを受けている。</p> <p>小学校、子ども達の様子はどうか。</p>
高本委員	毎日感染者が何人、死者が何人、という情報を耳にし、そのうえ、

	<p>マスクをつけ、休み時間も制限があり、ストレスを抱えているだろうが、子ども達はよく頑張っている。マスクのせいで声を出しにくいのか、元気がないように感じることもあるが、ZOOM 朝会で私が校長室からあいさつすると、校舎内で元気な声が響くので、大丈夫かな、とも思う。</p> <p>夏祭りや餅つきなど、楽しみにしていた地域行事は中止、放課後子ども教室も今年度はなくなった。保護者アンケートから、放課後の遊ぶ場、宿題をする場が欲しいという声もあり、これまでのことが大変ありがたかったと改めて感じている。今後の見通しが見つからない中、どうしていこうかと、悩ましいところである。</p>
古川委員	<p>こども会も、活動が何ひとつできない。「よそのお子さんを集団で預かる」という活動の性質上、リスクが高く、何か行事はしたいけど踏み出せず、活動を見合わせる場所は多いようだ。そんな中、野外活動センターのキャンプカウンセラーが中心となった「こども会レクリエーションのつどい」は、たくさんのこども会が参加し、今後の活動の励みとなったと思う。「やらなくてもいいじゃないか」とならないよう、みんなで支え合ってやっていけたら、と思っている。</p>
大島委員	<p>中学校PTAも、何も活動できていない。PTAについても、「なくともいいじゃないか」の声があがりそう。</p> <p>中3の子がいるが、修学旅行もなくなり、アルバムの写真にも困るような状況で、これで中学校卒業か、とさみしい思いがある。また、入試のWeb 出願など、戸惑うことも多い。コロナ禍で取り入れなければならないものはあるが、やはり「顔を合わせて会話をする」ことが大切だと感じている。私も、中学校保護者として卒業となるが、PTAが大事だということを次に伝えていきたい。</p>
三川議長	<p>他に、何か意見等はないか。</p>
大浦委員	<p>人権教育に、多様性に関わる文言がない。</p> <p>1) の2行目、「企画段階において」の後に「多様な」と入れてもらえないか。</p>
社会教育振興課長	<p>検討する。</p>

三川議長	最後に、教育長、これまでの議論を聞いて、何か発言はないか。
教育長	<p>人と人とのふれあい、対面の中でつながっていくことが必要と思っている。幼児教育の場では、マスクをしていることで表情が分からず、保育士側は保育がしにくく、子ども側にも発達に影響があるかもしれない、との懸念もある。</p> <p>オンライン、リモートでは、画面だけを見ているような状況になるが、雑談の中で生まれてくるものもある。コロナの中でも、つながりや交流ができることを考えて、提案できればと思う。</p>
三川議長	<p>他に意見はないか。議論は以上とする。</p> <p>提示した案に、今回いただいた内容を踏まえ、「令和3年度社会教育の努力目標」としたい。修正等については議長一任でよろしいか。</p>
委員	【異議なし】
三川議長	<p>決定した「令和3年度社会教育の努力目標について」は、年度当初に委員の皆様へ送付する。</p> <p>事務局から連絡事項等はあるか。</p>
事務局	特になし。
三川議長	<p>以上で、本日の予定案件は、すべて終了した。</p> <p>これをもって、令和2年度第2回茨木市社会教育委員の会議を閉会する。</p>